

ESDに関するユネスコ世界会議について

1 会議の概要

- (1) 名称：持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議
 (2) 主催：国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、日本政府
 (3) 開催期間：平成26（2014）年11月10日～12日 閣僚級会合、全体会合など

11月13日 フォローアップ会合

- (4) 会場：名古屋国際会議場



- (5) 参加規模：国内外の閣僚、政府関係者など約1,000人を含む数千人規模の参加を想定（2014年1月現在、ユネスコ加盟国は195カ国。）
 (6) 内容：「国連ESDの10年（2005年～2014年）」の活動を振り返るとともに、2014年以降の方策を議論する。

2 地元としての開催意義

本県には、平成17（2005）年の愛知万博、平成22（2010）年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催を通じて、「持続可能な社会」の大切さに対する県民の高い意識が根付いています。世界会議の開催を契機に、この意識をさらに高め、未来を支える人づくりを通じて、「環境首都あいち」の実現につなげていきます。

併せて、万博やCOP10で培った地域の力を結集して世界会議を成功に導くとともに、当地の持続可能な社会づくりに向けた取組を内外に広く発信し、多くの人々や企業を本県に引き付けることで、本県のさらなる飛躍・発展につなげていきます。

3 地元の役割

世界会議の成功に寄与し、未来を支える人づくりを進めることで「持続可能な社会づくり」に貢献していくため、「会議支援」、「あいち・なごやの魅力発信」、「ESDの普及啓発」、「ESDの取組促進」の4つの柱で、世界会議の支援を推進します。

(1) 会議支援

主催者と連携しながら、世界会議が安全・安心で、円滑かつ快適に行われるよう、関係機関などとの連携・協力のもと支援を行う。

- ア 安全・安心の確保（警備協力、救急対応 等）
- イ 円滑な会議運営（宿泊支援 等）
- ウ 快適なサービスの提供（輸送支援、交通案内 等）

(2) あいち・なごやの魅力発信

会議を契機として、地域の多様な魅力を世界の人々に体感していただくとともに、国内外に向けて積極的に発信する。

- ア おもてなし（公式歓迎行事、歓迎装飾、ボランティア、エクスカーション 等）
- イ 地元情報の提供（地元ガイドブックの配布 等）

(3) ESDの普及啓発

キャッチフレーズやロゴマークを活用した普及啓発、イベントの開催などにより、ESDに対する理解の浸透と、開催機運の醸成を図る。（開催半年前イベントの開催（5-6月）、展示会への出展などによる開催機運の盛り上げ 等）

(4) ESDの取組促進

会議を契機として、NPO、教育関係者、企業、行政など、地域の多様な主体と連携しながら、持続可能な社会づくりに向けた取組をさらに進める。